

令和5年度 事業計画

基本方針

労働力人口の減少により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が課題となる中、高齢者の就業を促進し、人手不足の緩和を図っていくことは喫緊の課題となっております。

また、人生百年時代を迎え、地域の高齢者が自ら培った知識や経験を生かし、就業を通じて地域社会に貢献し、社会の担い手になることが求められています。

このような現状において、高齢者に雇用機会を提供するシルバー人材センターの役割は、ますます重要になっております。

一方でシルバー人材センターをとりまく環境は、長引く景気の低迷や、本年10月から開始される消費税インボイス制度の影響等により、厳しさを増している状況です。

また、令和5年度中には、若潮ホールの廃止により館山市シルバー人材センターの事務所を、旧神戸小学校管理棟に移転することが決定しており、移転後の運営も含め多くの課題が存在します。

このような状況の中であっても、新型コロナウイルス感染予防等に配慮しつつ、会員が安全に就業できるような環境作りを推進する必要があります。

館山市シルバー人材センターとしては、会員の健康管理や事故防止について留意しつつ、会員の就業機会の拡大に向け、従来の請負・委託等のほか、派遣事業の受注拡大に尽力してまいります。

また、シルバー事業推進に当たっては、単に就労機会の拡大のみならず、高齢者の生きがいの充実に向けた事業の推進に努めます。

事業内容

1. 就業機会確保事業

(1) 就業の開拓・確保

①会員の希望に応じて、臨時的かつ短期的な就業、その他軽易な業務の就業機会を積極的に開拓・確保する。

ア 当センター事業のPRに努め、新規就業機会の確保及び既存の仕事の持続・維持を図る。

イ 市役所や市内事業所等に働きかけることにより、派遣事業等新たな就業機会の確保を図る。

ウ 事務系職種及び女性会員向けの職種の開拓に努める。

- エ 高齢化、核家族化社会の進展により、高齢者家庭や空き家などの草刈、維持管理などの就業機会の確保を積極的に行う。
- ②高齢者に対して就業を組織的に提供し、支援する。
- ア 超高齢化社会に見合った職種の開拓・確保に努める。
- イ 高齢者が長年培ってきた技術を継承できるよう、剪定・障子貼り等の技能群の充実と後継者の育成を図る。
- ウ 受注が多い草刈等を中心とした技能群の技能講習会等を充実して技能の向上を図る。

(2) 安全就業・適正就業の推進

①安全・適正就業推進委員会の開催

活動 委員会の開催により現状把握と対策を検討するとともに作業現場を巡回（安全パトロール）して、安全で適正な就業を支援する。

②安全・適正就業推進員の活動

活動 委員会の構成員である安全・適正就業推進員（1名）は、事務局から選出して、事故等の原因の究明や、防止策等を検討し安全対策に務める。
また、作業現場を巡回して、安全で適正な就業を支援する。

③安全講習会の開催

活動 ア 経験豊富な会員が講師となり、入会者を対象に草刈の安全講習会を実施する。
イ 草刈講習会は、入会者の状況により、入会説明会の後、随時行うこととする。
ウ 「刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育実施要領」に基づく草刈機の講習会を実施する。

④安全実地講習会

活動 ア 経験豊富な会員が講師・指導者となって、初めて就業する会員に、就業現場で安全作業、事故防止策の指導を行う。
イ 草刈作業・剪定作業・草取り作業に係る安全実地講習会は、会員の入会状況、就業希望状況により適宜行う。

⑤適正就業の推進

ア シルバー人材センターの就業を巡っては、法令順守に基づき適正就業の遵守の徹底が求められている。
このため、シルバー事業の契約にあたっては、適正な就業

形態に見合った契約か。また、就業の機会確保に際しては、「請負」、「委託」として適正か、作業現場は危険がないか、といった点検・確認をし、高齢者に適した就業を推進するとともに、問題のある契約については改善を図る。

イ 就業形態に見合った請負、委託契約の受注が困難な場合は、積極的に派遣事業への切替えを進める。

(3) 普及啓発事業の展開

センターの情報を発信し、活動に理解を深める。

- | | |
|-------------|--|
| ① 館山市広報誌の活用 | 市の協力により会員募集情報等掲載 |
| ② 地元日刊紙の活用 | センター事業の情報提供を行う。 |
| ③ ホームページの充実 | 随時センターの情報の掲載を行う。 |
| ④ ポスター等の活用 | 公共施設等へのポスター掲示 |
| ⑤ 会員増強の活動 | ハローワークでの南房総市との合同出張説明会等を定期的で開催し、積極的な会員の拡大を行う。 |

2. 就業機会提供事業

就業機会を組織的に提供することで高年齢者の就業を支援する。上記の確保事業で開拓・確保した事業に会員が就業することで、高齢者の生きがいの充実と地域活力の向上を目指す。

3. 若潮ホール事業

今年10月末をもって館山市の委託業務が終了することから、円滑な事業終了に向けた整理を行う。

4. 法人の運営

(1) 適正な事業管理

シルバー人材センター事業の予算執行については、適正な事業管理、法令順守が強く求められている。

法人税法上の非営利型法人の要件を引き続き満たすように、適正な事務を執行する。

(2) 組織体制の強化と運営

組織が脆弱で小規模な法人運営、かつ、多種多様にわたる通常業務の事務処理を円滑に執行していくことのできる事務局を確立し、将来において持続可能なシルバー人材センターのあるべき姿を検討する。

本年度中の事務所の移転に対応し、関連業務の整理や適正な人員配置と事務分掌の編成をし、持続可能な組織の育成を図る。

新規就業機会の開拓を積極的に行い、受注額や件数の増減にこだわることなく、高齢化しつつある会員に適した就業機会を提供するとともに、派遣事業の開拓等新たな就業機会の拡大に取り組む。

また、理事会、安全適正就業委委員会、安全講習会等との連携を図り、組織基盤と事業活動の一層の充実を図り、適正な法人運営を行う。

更に、就業現場においては、各作業班の班長のもと、適正、かつ安全な就業、法令順守を遵守して、事故防止に努める。

(3) 広報誌等の発刊

当センターの広報誌「事務所だより」を引き続き発行し、活動状況の報告や会員への就業案内、安全就業への注意喚起などの情報提供を積極的に行い、会員相互のきずなやコミュニケーションの強化を図るとともに、よりよい広報手段としての内容の改善をしていく。

(4) 会員間の親睦事業の実施

新型コロナウイルス感染症対策に引き続き留意しつつ、会員を対象とした講座の開催や、新年会等の親睦行事の開催を検討し、就業のみでない会員の親睦の機会を提供していく。